

『テキスト 量子力学 -萌芽と構築の視点から-』 (川村嘉春 著, 学術図書出版社)

## 正誤表 第1版 第1刷 用

頁	場所	誤	正
24	1行目	確率 $\rho(q_1, \dots, q_f, p_1, \dots, p_f)$ は,	確率 $\rho(q_1, \dots, q_f, p_1, \dots, p_f) \prod_{a=1}^f dq_a dp_a$ は,
24	(3.12) 式	$\rho(q_1, \dots, q_f, p_1, \dots, p_f) =$	$\rho(q_1, \dots, q_f, p_1, \dots, p_f) \prod_{a=1}^f dq_a dp_a =$
34	(4.26) 式の上の行	$N_A$ 個の粒子の運動の自由度 $3N_A$ と等しいので,	$N_A$ 個の粒子の運動の自由度 $3N_A$ と等しいと近似して,
35	1行目	という形で固有振動数の上限値 $\nu_M$ に条件がつく.	という形で固有振動数の上限値 $\nu_M$ に条件をつけよう.
87	(10.40) 式	$I \doteq 0.830 \times 10^{-47} \text{ kg} \cdot \text{m}^2$	$I \doteq 8.30 \times 10^{-48} \text{ kg} \cdot \text{m}^2$
87	(10.41) 式	$T = \frac{\Delta E_{\text{回転}}}{k} = \frac{h^2}{8\pi^2 I k} \doteq 50 \text{ K}$	$T = \frac{\Delta E_{\text{回転}}}{k} = \frac{h^2}{8\pi^2 I k} \doteq 48.7 \text{ K}$